

平成31年度 社会福祉法人弥生福祉会 事業計画書

【法人の理念】

《組織の基本的な目的ならびに価値観》

老いても人生をエンジョイできる地域社会の創造

【法人目的】

《理念で示された基本的な目的並びに価値観を更に協調した主な価値（定款上の目的）》

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- ① 第1種社会福祉事業
特別養護老人ホーム愛寿苑の経営
- ② 第2種社会福祉事業
 - イ. 老人デイサービス事業の経営（愛寿苑デイサービスセンター）
 - ロ. 老人短期入所事業の経営（ショートステイ愛寿苑）
 - ハ. 老人介護支援センターの経営（愛寿苑在宅介護支援センター）
 - ニ. 小規模多機能型居宅介護事業の経営（やよいの里）
 - ホ. 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営（やよいの森）
- ③ 老人居宅介護等事業（愛寿苑居宅介護支援センター）
- ④ 福井市基準該当生活介護・自立訓練事業
（愛寿苑デイサービスセンター／やよいの里）
- ⑤ 自主事業
 - ・ 愛寿苑デイサービスセンター 宿泊サービス（福井市在宅介護支援事業登録）
 - ・ ふく福くらしサポート事業（生活困難者総合相談・生活支援事業）
（福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会 会員）

【法人方針】

《本年度の法人が目指す方向》

1. 職員一人ひとりが資源であることを自覚し、お互いが認め合い、学び合って、サービスの向上を図り、地域の利用者の方にとって、私たちにとっても「価値あるサービス」を提供ができる組織を目指す。

【行動指針】

《本年度の法人職員が日々、誠実かつ適切な行動をするための共通の価値観・倫理観であり、行動の拠り所となる方針》

1. 私たちは、法令遵守を第一に考えます。
2. 私たちは、元気よく、笑顔を持って利用者の方々を支援します。

3. 私たちは、明確な目標を掲げ、情熱をもって行動し、福祉従事者としての「生きがい・やりがい」を追い続けます。

【法人スローガン】

《本年度、法人が主張や目標を強く印象づけるために、効果的に要約した文章。標語》

『築こう、信頼。安心あるサービス』

地域の利用者にとって安心という「価値あるサービス」を提供するために、人がひとを支える援助者として、常に、やさしさ、おもいやりをもって積極的に行動し、地域の皆様への信頼、連携を築いていきましょう。

【法人事業に対する取り組み】

《本年度、法人として達成を目指すことがらを示す》

○法人

- ・ 社会福祉法改定に伴う対応。評議員会、理事会、運営協議会により円滑な法人の運営を図る。
- ・ 各社会福祉事業の円滑な運営を図り、地域老人福祉に寄与する。
 - (1) 特別養護老人ホーム愛寿苑（介護老人福祉施設）
 - (2) ショートステイ愛寿苑（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業所）
 - (3) 愛寿苑デイサービスセンター
（通所介護事業所・通所型予防給付相当サービス・通所型基準緩和サービス／
障害者：基準該当生活介護・自立訓練事業）
 - (4) 愛寿苑在宅介護支援センター（地域型老人介護支援センター）
 - (5) 小規模多機能型居宅介護事業 やよいの里（障害者：基準該当生活介護）
 - (6) 認知症対応型老人共同生活援助事業 やよいの森
 - (7) 愛寿苑居宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）
 - (8) 愛寿苑デイサービスセンター宿泊サービス（自主事業）
（福井市在宅介護支援事業登録）
 - (9) ふく福くらしサポート事業（生活困難者総合相談・生活支援事業）（自主事業）
（福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会 会員）
- ・ 平成 30 年度継続事業、認知症対応型老人共同生活援助事業増築、開所の実施
- ・ 地域福祉の拠点としてのコミュニティーホールの検討、推進。
- ・ 保育・障害等福祉事業／一般診療所化（愛寿苑）の実施の可能性を検討、推進
- ・ 地域貢献のあり方を検討、地域福祉の拠点としての地域貢献事業推進、実施

○法人事業共通

- ・ 費用対効果、次期施設整備資金を考慮した事業経営
 - (1) 法人本部・事業所機能の効率化
 - ・ 各事業所による事業管理のための介護保険事務管理体制強化
 - ・ ケアマネジメント・加算・減算に伴う戦略的会議、記録等の事務処理を効率的、効果的にできるように見直しを実施